

ひろば 大代

No. 531

令和5年10月号

大田市の人口	
(R5.10.1 現在)	
大田市	32,323 人
内大代町	296 人
男	136 人
女	160 人

敬老会に参加して

本郷 曾根 巖

ここしばらく家の中で巣籠もり状態の毎日。新型コロナウイルスも5月からインフルエンザと同類の5類に移行。敬老会が3年ぶりに9月17日(日)旧小学校の体育館で催されることに決まり、大代地区社協会長より出席者代表の謝辞を頼まれ、OKの安請合やすうけあい。なにせ8歳の米寿、物忘れ、ぼけかげんで、どうしたものかと、センター長に助け舟をお願いし、謝辞の雛形を用意してもらいなるべく短く5行ぐらいの文をこしらえました。当日前夜あまりに短いので便箋1枚20行に修正。当日の朝、家内の前で読み上げを重ねました。ワイシャツのボタンがとまらないと10分

以上格闘、でもとまらない。諦め家内に助けを求めやっと出来上がり。ボタン一つ自分でとめられなくなったとすっかり落込みました。自治会長送迎の車でお出迎え。洋服をめかしこみ会場へ。主催者・来賓の方々にはブレザーにノーネクタイとラフないでたちに、サーカスのピエロの様に一人浮いた感じでした。開式のあと出席者代表謝辞と司会者の声に慌てて社協会長の前に進むと完全にあがってしまい頭が真白にどんな言葉でお礼を言ったのか喋ったのかうわの空。米寿になるまで安請合やすうけあいと一夜づけはだめだと知った老人です。猛暑続きの夏、大代町に実りをもたらす季節。敬老会の余興、地元小笠原流の田植囃子大代の若い人達の生き生きと躍動する姿、老人王国大代もまだまだのびしろのある町だと感じました。大江高山神楽社中の恵比寿、山下時子さんの歌謡ショーあつという間の2時間半閉会の万歳、大代敬老会ありがとう万歳、米寿までよく頑張った自分への万歳。精一杯の大声で喜びの万歳

と叫びました。

敬老会を催すにあたりご苦勞なされた社協役員、自治会長、婦人会の方々。この老人に、楽しい楽しい敬老会からの幸せ、大手を広げて体全体でいただきました。ありがとうございました。



敬老会デビューしました

八反田 竹間初美

今年から敬老会に招待された新人です。今までは招待する側でしたが、これからは招待される側になりました。嬉しいような寂しいような複雑な気持ちです。新型コロナウイルスの為4年ぶりの開



催でした。お祝いのお言葉を頂き、久しぶりに田植囃子を見せてもらったり、めでたい恵比寿の神楽でアメをもらったり、山下時子さんの歌に握手にと楽しいひとときでした。お菓子やお弁当も頂きありがとうございました。社協をはじめ各団体の方々には、暑い中前日より準備され大変お世話になりました。来年も元気で皆さんと会えるように体につけたいと思っています。

敬老会を迎えて

右原 渡利マサ子

歴の上では、立秋だと言うのに毎日暑い日が続きます。敬老会が体育館で9月17日開催されました。玄関口に入ると、皆さんよりお祝いの言葉をいただきました。少し照れましたが高村清会長の挨拶に始まり、ひさしぶりの田植囃子そして恵比寿さんからは皆さんへ福をたくさんいただきました。最後は体育館いっぱい歌声の山下時子歌謡ショーでした。トークもありとても楽しいひと時を過ごさせていただきました。品なお茶菓子そしてお弁当。中身の赤板かまぼこが祝い弁当をひきたてましたね。家でゆつくりよばれました。美味しかったです。時代もどんどん変わって、昭和、平成、令和と農業も機械化して、なかなかついていけません。いつまでも元気でいれること、そして孫の成長を楽しみに頑張ります。敬老会には本当にお世話になりました。これからも、主人ともお世話になります。

す。皆さん声をかけてくださいね。



懐かしき田植囃子

本郷 山根啓子



約4年ぶりに敬老会の田植囃子に参加させていただきました。コロナの流行によりひさしぶりだったので正直なところ不安でしたが無事に終える事ができました。初めて参加させていただいたのは6年前の平成30年に美郷町から地元

へ戻ってきた年でした。当時は長年地元から離れていたのにも関わらず声をかけてもらい、久しぶりに同級生、先輩、地元の人達と会えて懐かしく思いました。田植囃子といえは中学生の時に3年間早乙女を担当していました。あの頃は生徒だけではなく先生方も加わってやっていて夏の祭りが近づいてくると一生懸命に練習していました。たまに大家の町中を車で通る際に、田植囃子で歩いた所を懐かしく思います。また、平成7年の夏には地元の人が集まった百人のどんつくにも参加していました。当時は高校生でしたが中学生から大人までが集まり、力を一つにして盛大にできたのが良かったです。今のご時世ではまた、百人のどんつくを復活させるのは難しいと思いますが、古くから伝わっている田植囃子を地元の人達とやりたいと思います。その際には参加しようと思っっています。



田植囃子によせて

山田 坂本さやか

令和5年9月17日敬老会が4年振りに開催されました。ここ数年コロナの為、自粛されその都度披露されていた田植囃子もお休みとなっていました。今までコロナでお休みしていた田植囃子、今年は復活し披露するとの事。早乙女を再びすることに決まり、徐々にまた唄を歌うことに。

さて、「声がでるかいなあ」「歌詞忘れたけど大丈夫かいなあ」などと思いつながら向かう練習初日でした。

本番まで2回の練習。案の定初日では、植調子の唄い出しすぐの所作のタイミングを忘れて体が動きだすのが遅れていました。やはり間が空くと忘れていたと実感しました。しかし、練習を重ねる内に段々と感覚も取り戻しリズムに出来るようになっていきました。昔、中学生の時に習った伝統芸能田植囃子、何年経っても体に染みついているものですね。

あの頃は「植調子」の他に「さんばいおろし」「苗取唄」と3種類を披露していたのが懐かしく感じました。

当日は、道ゆきをしてからの植調子の披露となりました。練習では本番どうなるかと思っていました。歌詞もちゃんと覚えて所作も出来ていたので無事にやり終えて良かったと思います。

敬老会出席の皆様、久しぶりの田植囃子はいかがでしたでしょうか。田植囃子で、皆様に喜んで頂き、笑顔になつてもらえたら嬉しく思います。皆様にとって田植囃子がどんなものか懐かしく思い返すことは出来たでしょうか。

俳句

あすなる句会

椿 花田時子

夏祭かき氷食ぶ笑顔かな
初秋の風は吹けども暑き日々

川上 岩田律枝

亡き人の面影浮ぶ吾亦紅
孫去んで安堵の夕餉秋の宵

井田 山田松三郎

朝寒や散歩の勢出で来たる
突然の木犀の香に佇めり

上市 横田美恵子

ばった飛ぶ夕暮れの道雨上がり
秋晴れに白く伸びたる雲高く

井田 水谷訓子

早々と柚の灯ともし秋深し
かなかなや孫の名かな子夕茜



よろしくおねがいします

10月2日より、大代まちづくりセンターに勤務することになりました。
柿田自治会の岡田陽子です。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



◆本の紹介◆

明石市巖松堂書店 山根金造
「世界を動かした日本の銀」
磯田道史 著

祥伝社新書(920円+税)

タイトルには石見銀山の名前はないが本の内容は世界を動かした日本の銀特に石見銀山が人類史に与えた影響の大きさについて資料をもとに解かりやすく述べています。第3章では石見银山資料館仲野義文館長が登場します。ぜひ読んでみてください。



大代町文化祭のご案内

11月19日(日) 10時〜開催

今年度は食文化をテーマに開催します。
会場は大代まちづくりセンターです。
作品展示もあります。皆様お待ちしております。

東京石見高山会 参加者募集

11月12日(日) 12時〜

4年振りに開催されます。大代の方も是非参加してください。詳細はまちセンまでご連絡下さい。

11月行事予定



- ▼ 12日(日) 福祉弁当
- ▼ 19日(日) 文化祭
- ▼ 22日(水) 連合自治会

- ▼ 2日・9日・16日・30日(木)

えびすの会 9時半〜11時半

※行事は延期・中止になる場合があります